米子工業高等専門学校		開講年度	令和02年度 (2020年度)	授業科目	英語総合 I
科目基礎情報					
科目番号	0010		科目区分	一般 / 必修	
授業形態	講義		単位の種別と単位数	履修単位: 3	
開設学科	電気情報工学科		対象学年	1	
開設期	通年		週時間数	3	
教科書/教材	MY WAY English Communication I / DataBase4500/ ワークブック				
担当教員	酒井 康宏, 鈴木 草子				
到達目標					
中学校で習得した英語の知識を基礎にして、発音、語彙、文法及び構文、読解力、コミュニケーション能力を身につける。					
1. 発音：聞き手に伝わるよう、リズムやイントネーションに配慮して、音読あるいは発話できる。 2. 語彙：中学校で既習の語彙の定着を図り、高等学校学習指導要領に準じた新出語彙を習得できる。 3. 文法及び構文：中学校で既習の文法や構文に加え、高等学校学習指導要領に準じた文法や文構造を習得できる。 4. コミュニケーション能力：日常生活や身近な話題に関して、基本的内容の聴解、読解、伝達に加え、基本的な意見交換ができる。					
ループリック					
	理想的な到達レベルの目安		標準的な到達レベルの目安		未到達レベルの目安
評価項目1 発音	聞き手に伝わるよう、リズムやイントネーションに配慮して、音読あるいは発話できる。		聞き手に伝わるよう、リズムやイントネーションに配慮して、音読あるいは発話がある程度できる。		聞き手に伝わるよう、リズムやイントネーションに配慮して、音読あるいは発話できない。
評価項目2 語彙	中学校で既習の語彙の定着を図り、高等学校学習指導要領に準じた新出語彙を習得できる。		中学校で既習の語彙の定着を図り、高等学校学習指導要領に準じた新出語彙がある程度習得できる。		中学校で既習の語彙の定着を図り、高等学校学習指導要領に準じた新出語彙を習得できない。
評価項目3 文法及び構文	中学校で既習の文法や構文に加え、高等学校学習指導要領に準じた文法や文構造を習得できる。		中学校で既習の文法や構文に加え、高等学校学習指導要領に準じた文法や文構造がある程度習得できる。		中学校で既習の文法や構文に加え、高等学校学習指導要領に準じた文法や文構造を習得できない。
評価項目4 コミュニケーション能力	日常生活や身近な話題に関して、基本的内容の聴解、読解、伝達に加え、基本的な意見交換ができる。		日常生活や身近な話題に関して、基本的内容の聴解、読解、伝達に加え、基本的な意見交換がある程度できる。		日常生活や身近な話題に関して、基本的内容の聴解、読解、伝達に加え、基本的な意見交換ができない。
学科の到達目標項目との関係					
学習・教育到達度目標 E					
教育方法等					
概要	この授業では本校の教育目標のうち「技術者としての基礎力」と「社会とかがわるためのコミュニケーション力」の育成を目指す。英語の4技能「読む」・「話す」・「聞く」・「書く」をバランスよく養うとともに、様々な内容の英文にふれることによって、異文化に対する理解を深める。また、授業外での多読を実施する。簡単なものから読み始め、英語を読むことに慣れ親しむことを目標にする。				
授業の進め方・方法	ペア・グループでの活動を中心に授業をすすめる。授業に集中し、その日の内容は授業中に理解するよう心がけること。教科書の音読、単語練習、文法事項の理解、宿題、単語テストの勉強等を行い、学んだことが定着するよう家での復習を充実させること。授業には必ず辞書を携帯し、例文検索、成句検索などいろいろな機能を使って学習に役立ててほしい。授業に関する質問は適宜受け付ける。原則として毎週単語テストを行う。Lessonが終わるごとに小テストを実施する。				
注意点	小テストにはDataBase4500単語テスト、レッスンの小テストを含む。授業への積極的な取組を評価する。				
授業計画					
		週	授業内容	週ごとの到達目標	
前期	1stQ	1週	中学校の復習、Lesson 1 (本文)	ガイダンスで授業内容がわかる。名前をめぐる世界の状況を知る。文型 SV, SVO / SVC / SVO102 を理解し、使えるようになる。	
		2週	Lesson 1 (本文)	名前をめぐる世界の状況を知る。文型 SV, SVO / SVC / SVO102 を理解し、使えるようになる。	
		3週	Lesson 2 (本文)	やなせたかしさんが伝えたメッセージを読み取る。SVOC / SVO (O=that節) / 比較級・最上級 を復習する。	
		4週	Lesson 2 (本文)	やなせたかしさんが伝えたメッセージを読み取る。SVOC / SVO (O=that節) / 比較級・最上級 を復習する。	
		5週	Lesson 3 (本文)	オリンピックの歴史とその目的を学ぶ。助動詞 / 受け身 / 助動詞のついた受け身 を復習する。	
		6週	Lesson 3 (本文)	オリンピックの歴史とその目的を学ぶ。助動詞 / 受け身 / 助動詞のついた受け身 を復習する。	
		7週	Lesson 3 (本文)	オリンピックの歴史とその目的を学ぶ。助動詞 / 受け身 / 助動詞のついた受け身 を復習する。	
		8週	前期中間試験	前期中間までの内容を理解する。	
	2ndQ	9週	Lesson 4 (本文)	病院で見られるアートについて知る。現在進行形 / 現在完了形を復習し、過去完了形を学ぶ。	
		10週	Lesson 4 (本文)	病院で見られるアートについて知る。現在進行形 / 現在完了形を復習し、過去完了形を学ぶ。	

		11週	Lesson 4 (本文)	病院で見られるアートについて知る。 現在進行形 / 現在完了形を復習し、過去完了形を学ぶ。
		12週	Lesson 5 (本文)	世界のさまざまな文字について学ぶ。 動名詞 / to不定詞の名詞的用法・副詞的用法 / to不定詞の形容詞的用法 / It is ... to不定詞を復習する。
		13週	Lesson 5 (本文)	世界のさまざまな文字について学ぶ。 動名詞 / to不定詞の名詞的用法・副詞的用法 / to不定詞の形容詞的用法 / It is ... to不定詞を復習する。
		14週	Lesson 5 (本文)	世界のさまざまな文字について学ぶ。 動名詞 / to不定詞の名詞的用法・副詞的用法 / to不定詞の形容詞的用法 / It is ... to不定詞を復習する。
		15週	前期末試験	前期期末までの内容を理解する。
		16週	答案返却とまとめ	前期の学習内容が復習できる。
後期	3rdQ	1週	Lesson 6 (本文)	日本の伝統的な食文化について知る。 関係代名詞 (主格) / 関係代名詞 (目的格) を復習する。関係代名詞 what / SVO1O2 (O2=how to ~) を学習する。
		2週	Lesson 6 (本文)	日本の伝統的な食文化について知る。 関係代名詞 (主格) / 関係代名詞 (目的格) を復習する。関係代名詞 what / SVO1O2 (O2=how to ~) を学習する。
		3週	Lesson 6 (本文)	日本の伝統的な食文化について知る。 関係代名詞 (主格) / 関係代名詞 (目的格) を復習する。関係代名詞 what / SVO1O2 (O2=how to ~) を学習する。
		4週	Lesson 7 (本文)	ハープが作る未来について知る。 現在分詞の形容詞的用法 / 過去分詞の形容詞的用法 を復習する。分詞構文① / 分詞構文②を学習する。
		5週	Lesson 7 (本文)	ハープが作る未来について知る。 現在分詞の形容詞的用法 / 過去分詞の形容詞的用法 を復習する。分詞構文① / 分詞構文②を学習する。
		6週	Lesson 7 (本文)	ハープが作る未来について知る。 現在分詞の形容詞的用法 / 過去分詞の形容詞的用法 を復習する。分詞構文① / 分詞構文②を学習する。
		7週	復習	後期の学習項目が理解できる。
		8週	後期中間試験	後期中間までの内容を理解する
	4thQ	9週	Lesson 8 (本文)	古代ギリシャの沈没船から見つかった謎の物体について知る。 関係副詞 where / 関係副詞 when / 関係副詞 why / It is ... that ~を学習する。
		10週	Lesson 8 (本文)	古代ギリシャの沈没船から見つかった謎の物体について知る。 関係副詞 where / 関係副詞 when / 関係副詞 why / It is ... that ~を学習する。
		11週	Lesson 8 (本文)	古代ギリシャの沈没船から見つかった謎の物体について知る。 関係副詞 where / 関係副詞 when / 関係副詞 why / It is ... that ~を学習する。
		12週	Lesson 9 (本文)	世界中の子どもたちに愛されるテレビ番組について知る。 条件を表す if節 を復習する。仮定法過去 / I wish ~ / as if ~を学習する。
		13週	Lesson 9 (本文)	世界中の子どもたちに愛されるテレビ番組について知る。 条件を表す if節 を復習する。仮定法過去 / I wish ~ / as if ~を学習する。
		14週	Lesson 9 (本文)	世界中の子どもたちに愛されるテレビ番組について知る。 条件を表す if節 を復習する。仮定法過去 / I wish ~ / as if ~を学習する。
		15週	学年末試験	後期学年末までの学習項目が理解できる。
		16週	答案返却とまとめ	1年間で教わったすべての学習項目が理解できる。

モデルコアカリキュラムの学習内容と到達目標

分類	分野	学習内容	学習内容の到達目標	到達レベル	授業週
基礎的能力	人文・社会科学	英語運用の基礎となる知識	聞き手に伝わるよう、句・文における基本的なリズムやイントネーション、音のつながりに配慮して、音読あるいは発話できる。	1	前2
			明瞭で聞き手に伝わるような発話ができるよう、英語の発音・アクセントの規則を習得して適切に運用できる。	1	前3
			中学で既習の語彙の定着を図り、高等学校学習指導要領に準じた新出語彙、及び専門教育に必要な英語専門用語を習得して適切な運用ができる。	1	前1,前2
			中学で既習の文法や文構造に加え、高等学校学習指導要領に準じた文法や文構造を習得して適切に運用できる。	1	前1,前2
		英語運用能力の基礎固め	日常生活や身近な話題に関して、毎分100語程度の速度ではっきりとした発音で話された内容から必要な情報を聞きとることができる。	1	前4
			日常生活や身近な話題に関して、自分の意見や感想を基本的な表現を用いて英語で話すことができる。	1	前5

			説明や物語などの文章を毎分100語程度の速度で聞き手に伝わるように音読ができる。	1	前6
			平易な英語で書かれた文章を読み、その概要を把握し必要な情報を読み取ることができる。	1	前7
			日常生活や身近な話題に関して、自分の意見や感想を整理し、100語程度のまとまりのある文章を英語で書くことができる。	1	前9
			母国以外の言語や文化を理解しようとする姿勢をもち、実際の場面で積極的にコミュニケーションを図ることができる。	1	前1
			実際の場面や目的に応じて、基本的なコミュニケーション方略(ジェスチャー、アイコンタクト)を適切に用いることができる。	1	前1
		英語運用能力向上のための学習	自分の専門分野などの予備知識のある内容や関心のある事柄に関する報告や対話などを毎分120語程度の速度で聞いて、概要を把握し、情報を聞き取ることができる。	1	後2,後12
			英語でのディスカッション(必要に応じてディベート)を想定して、教室内でのやり取りや教室外での日常的な質問や応答などができる。	1	後3,後13
			英語でディスカッション(必要に応じてディベート)を行うため、学生自ら準備活動や情報収集を行い、主体的な態度で行動できる。	1	前10,後4,後14
			母国以外の言語や文化を理解しようとする姿勢をもち、教室内外で英語で円滑なコミュニケーションをとることができる。	1	前11,後5,後15
			関心のあるトピックについて、200語程度の文章をパラグラフライティングなど論理的文章の構成に留意して書くことができる。	1	前12,後6
			関心のあるトピックや自分の専門分野のプレゼン等にもつながる平易な英語での口頭発表や、内容に関する簡単な質問や応答などのやりとりができる。	1	前13,後7
			関心のあるトピックや自分の専門分野に関する論文やマニュアルなどの概要を把握し、必要な情報を読み取ることができる。	1	前14,後9
			英文資料を、自分の専門分野に関する論文の英文アブストラクトや口頭発表用の資料等の作成にもつながるよう、英文テクニカルライティングにおける基礎的な語彙や表現を使って書くことができる。	1	前15,後10
			実際の場面や目的に応じて、効果的なコミュニケーション方略(ジェスチャー、アイコンタクト、代用表現、聞き返しなど)を適切に用いることができる。	1	後1,後11

評価割合

	試験	発表	相互評価	態度	ポートフォリオ	その他	合計
総合評価割合	60	0	0	0	0	40	100
基礎的能力	60	0	0	0	0	40	100
専門的能力	0	0	0	0	0	0	0
分野横断的能力	0	0	0	0	0	0	0